

防災

小学校中学年以上

中学校

高校

社会

総合

学級活動

特報首都圏

25分

御嶽山噴火の衝撃

～登山者50人の証言・映像記録～

(2014年放送)

この番組の良さ



火山噴火の脅威

番組では、御嶽山から生還した登山者50人以上から映像と証言を集め、噴火直後に何があったのか詳細に分析していきます。

灰に埋まる人を目撃した人、巨大な岩が降り注ぐ中偶然助かった人、噴石で負傷しながら小屋に逃げ込んだ人…。記録された映像には、これまで知られていなかった現場での緊迫したやりとりや、壮絶な光景が記録されています。それぞれの足跡を時間の経過とともに地図に落とし込み、噴火直後何があったのか、そしてそこで人々がどのように行動していたのかを明らかにしていきます。

火山とどう付き合っていくか

日本は、全世界の活火山の7%が集中する火山国です。多くの人が登山を楽しむ現代に、火山噴火の脅威にどう備え、火山とどう付き合っていけばよいのでしょうか。本番組を通じて考えることができます。

番組活用のポイント

噴火直後、何があったのか…

御嶽山は、長野・岐阜の県境に位置する標高3067mの火山です。1979、1991、2007年に噴火しましたがその後は平穏な状態でした。しかし、2014年9月27日11時52分、突如として噴火し、死者58人、行方不明者5人という戦後最悪の人的被害をもたらしました。

番組では、御嶽山の噴火直後の様子を生還者の証言や映像から検証していきます。九死に一生を得た登山者は、周りの状況をどう捉え、どのような行動をとったのでしょうか。登山者50人以上の証言や映像記録から詳細に知ることができます。

災害に直面したとき、どう行動したらよいのか

山頂付近では、水蒸気噴火によって大小さまざまな噴石が猛烈なスピードで降り注ぎました。噴石の被害の様子や避難場所での人々の行動が、映像や数々の証言から分かります。死を覚悟し家族に最後のメッセージを送る人々の写真、リュックの中に入っていた鉄製のコップに命を救われた人などの証言から、災害の凄惨さが伝わってきます。

このような災害に直面したとき、私たちはどのように行動したらよいのでしょうか。そして、今後火山とどのように付き合っていけばよいのでしょうか。番組を通じて、考えることができます。

防災について考える学習を

防災学習について、より理解を深めたいときは、他のティーチャーズ・ライブラリーの番組を活用すると効果的です。『証言記録 東日本大震災 津波は知っているつもりだった』(P.52)、「火山はすごい! 火山学者 鎌田浩毅」(2015年度版P.50)などを活用するとよいでしょう。

学習展開例

授業時間 45分



西条市立氷見小学校
教諭 山内雅博

執筆

火山のもたらす災害と どう向き合っていくか

時間配分	学習活動	教師の支援
5分	<p>①御嶽山の火山災害について知っていることを話し合う。</p> <p>②ねらい「私たちは災害とどう向き合っていくか」を考えることを確認する。</p>	<p>○御嶽山について押さえておくポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県と岐阜県の県境に位置すること。 ・標高3067mの火山であること。 ・2014年9月27日11時52分に突如として噴火したこと。 ・紅葉シーズンで多数の登山者がいる中、前兆がほとんどなく、突然噴火が始まったこと。 ・死者58人、行方不明者5人という戦後最悪の人的被害をもたらしたこと。 ・被害者の多くが、噴石の直撃などによる「損傷死」であったこと。
25分	<p>③番組を視聴しながら考える。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 50%;">  <p>視聴 TV 噴石から命を守ってくれた鉄製のコップを見せながら、その時の思いを語る生還者</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>避難所で死を覚悟し、家族へメッセージを送る人たち</p> </div> </div>	<p>○心に残った言葉や場面をメモしておくよう指示する。</p> <p>○状況を的確に判断し、その時できることを即時に考え、行動することが大事であることを押さえる。</p> <p>○どのような思いで家族にメッセージを送ったのか考えさせたい。</p>
10分	<p>④番組を見ての感想をもとに、今後災害とどう向き合っていくかを話し合い、考える。</p> <div style="text-align: center;">  <p>特報首都圏 御嶽山噴火の全貌</p> <p>登山者50人 証言と映像記録</p> </div>	<p>○心に残ったことを発表する中で、自分たちは災害とどう向き合っていくかを問う。</p> <p>○災害に直面したとき、大事なことは何かを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な知識（その前提として、的確な情報周知の体制） ・冷静な判断力 ・選択したことを実行に移す行動力 ・コミュニケーションとチームワーク <p>○火山は災害をもたらすだけでなく、恵みももたらしてくれていることにふれる。(コラム参照)</p>
5分	<p>⑤今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>○今日の学習で学んだことをノートなどに書く。振り返りや感想を交流し、友達のいろいろな考え方にふれることができるようにする。</p>

コラム 火山がもたらすもの

火山は、噴火を始めると甚大な被害をもたらす、人々の生命や財産を奪ってしまいます。しかし、長い目でみると人間に豊かな恵みをもたらしてくれています。日本の主な観光地は、火山の近くに多数あります。温泉地、噴出物の堆積によりできた高原、多くの滝や湖などは、火山の噴火によってもたらされたものです。実際の授業では、火山噴火の災害だけでなく、恵みについてもふれ、その恵みを享受しながら災害にどのように対応していくかという視点で、考えを深めていくことが大事です。